
空のいろ。。。

梨香。。。

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

空のいろ。。。

【Nコード】

N7255L

【作者名】

梨香。。。

【あらすじ】

主人公の菜津美のトラウマ、悲しい過去から、立ち直るお話。。。

空のいろ。。

l e v : 1

・加藤 菜津美 (15)

・庄司 香奈 (15)

・佐野 陸斗 (15)

・百瀬 春樹 (15)

・野辺 沙希 (16)

・南條 柊斗 (16)

・戸崎 直樹 (17)

空。。

海の青が色移りしたみたいな綺麗な青。。

あの人わ今元気になっているだろうか。。。？

いつまで地球わ地球であり続けるのだろうか。。。？

ありがとう。。。。

これからもありがとう。。。。

今、この地に足がついていること。。。。

あなたが居なければあたしわここにわ居なかった。。。。

どんな人と付き合っても、

心でわあなたが一番だから。。。。

高校1年生。。。。

夢と希望と不安と優越感に駆られる、大人えの第一歩。。。。

誰もがそんな気持ちを持つ。。。。

。。。でも

あたしわ違った。

友達わ、いつも行動を共にする、

香奈・陸斗・春樹・・・。

初めわ香奈があたしに話掛けてくれたことがキツカケ。

陸斗と春樹わ、二人で居る所で話掛け、ノリで仲良くなった。あたしをふくめた四人が族に言う「イツメン」である。

入学して一か月、

隣のクラスの、少し浮いてるGALの女の子が学校を辞めた。

・・・その時あたしわ、一緒に辞めようかなあと思った。

そして香奈わ、

「菜津美って学校楽しいと思ってる???」

と言ってきた。

それわ、隣のクラスの女の子が学校を辞めた次の日だった。

「えッ・・・・・・・・?」

正直、学校を楽しめてない時期だったから少しドキッとした。

「だって何か楽しそうな顔してないし・・・。」

「そッ・・・そう・・・?」

「うん・・・・。何かあったの?」

何かあった・・・？

・・・かぁ・・・。

「うん・・・・・・・・。中学のときねえ・・・・・・・・。」

「引きずってんの？彼氏にフラれたとか？」

「うん。そんなことだったらいんだけどねえ・・・・・・・・。」

ぶっちゃけ、中学時代に付き合った人数わ10人を超している。
香奈にいつたら、なんじゃそれえゝ！！モテモテじゃあゝん！！ズルイゝ！！
と言われた。

「今日、放課後に4人で語らない??」

「うん。何処がいいかね？」

「お金ないから教室で良くない??」

「いいよ。あとで陸斗と春樹に伝えておかなきゃね。あの二人何処行っただろう。」

「トイレじゃない？さっき陸斗と春樹がトイレ行きたいって騒いだ。髪セットしたいんだてっさ！」

あっというまに時間過ぎて、放課後の時間やってきた。

「何語るかあゝ。」

から始まって、

「言えてるうゝ!!!」

「超ウケンだけどおゝ!!!」

ってな感じで話わ発展していった。

「そつえばさあ、さつき菜津美がいった中学の時の引きずってるってゆう話聞いたらずいかな」

香奈わ、多分、ズツトきにしてたんだろう・・・。

「んんゝ・・・。ホントわまずいんだけど3人にだけ教えておくうゝ・・・。」

この話したら泣いちゃうかな・・・あたし。
実わまだたちなおってないんだもん・・・。

実は・・・。

「実はあたし・・・。。。」

・・・。。。

「実はあたし・・・。中2の時から付き合ってた彼氏・・・。
交通事故で死んでるんだ・・・。」

「えっ・・・・・・・・・・」

長い間沈黙が続く・・・。

これからあたしは、

神様を憎んだ、

強烈に神の事を憎んだ、

哀しい過去について、

みんなに明かすのだ・・・。

あの事について・・・。

あの過去について・・・。

2話に続く・・・

空のいろ。。

1 e v . 2 (前書き)

香奈に過去の事を聞かれた菜津美・・・。

「彼氏が交通事故で死んでるんだよね・・・。」

神を憎んだその哀しい過去とは・・・？

空のいろ。。

l e v . 2

「交通事故・・・??」

「うん・・・。テレビとか新聞にも載った・・・。
卒業式が終わって1週間が経ったあと位かな・・・。
駅前の歩道を歩いてるの見たんだ・・・。」

その日、まだニュースでは発表されていなかった、逃走車がいた・・・。

そして、彼氏は友達と一緒に歩いていた。

その友達は、中学の時に仲良くしていた友達で、あたしも顔は当然、
何度か遊んだ事もあった。

あたしが声を掛けると、
おお!! 偶然だなッ!!
と言って、あたしがいた、反対側の歩道まで来てくれた。

歩道には防歩柵が立っていないくて、
よく人がびよんぴよん飛び出しながら歩き渡っている程だった。

そしてあたしは、道路側に立っていた。

道路の、300m程向こうから、ざわつき始めているのに気がついたあたし達は、

なんだろうね・・・。

と言いながら見ていると、

パトカーに追われている車がこっちへと向かってくる・・・。

「菜津美ツ・・・!!!!ツぶねえツ・・・!!!!!!」

腕を引っ張られたその時だった。

キキイイイーーーーーッッッッッ!!!!!!!!!!

ドオーーーーーッ!!!!!!!!!!

ドサッ・・・・・・

「「キャアツツツツーーーー！！！！！！」」

彼氏は、逃走中の車に引かれて即死した。

逃走犯が乗っていた車は時速150KMを越していたそうだ・・・。

「・・・・・・・・・・。」

沈黙・・・。

まあ、突然こんな、自分の彼氏が交通事故で死んでるんです・・・
なんて話聞かされたら黙るのは当然かあ・・・。

「なんかごめん・・・。」

「うつん・・・。」

まあ、こんな立ち直らずにウジウジしてんのもいけないんだよね
・・・。」

「そんなこと無いよ。俺なんて、彼女に振られて3ヵ月立ち直ん
なかつたし・・・。」

レベル違いだけど・・・。」

「ありがとう。」

なんか一気にしんみりしちゃったなあ・・・。

「もう帰ろうかッ!!!!」

あたしが言っと、

皆も、いつもの元気を取り戻したみたいだった。

「うん! 帰って早くご飯たべたぁい?」

「俺んち今日カレー的な事言ってたなあ!。若干楽しみ(^ o ^)」

そう言って駅でそれぞれ別れて帰路を辿った。

「ただいまぁ・・・。」

「菜津美おかえり。」

リビングにいたのは、幼馴染の友樹。

幼馴染でもあり、

・・・元彼氏(死んでしまった彼氏)の双子の兄だ。

最近、あたしが家に帰ると
家に居る。

もちろんお母さんも居る。

けど、少し位、あたしの気持ちを考えてくれたっていいと思う。

なんでよりによつて双子なんだろうと、顔を見る度に思っている。

「・・・・・・・・。」

「まあた無視???」

友樹は、元彼の夏樹よりもヤンキーっぽくて、活発のくせに面倒くさいことに関しては手を出さず、

女遊びと喧嘩が大好きな女経験が豊富な

族に言う「問題児」である。

いつもは無視すればリビングで、お母さんが出したお菓子を食べて帰る。

「・・・・・・・・いつもは・・・・・・・・。」

今日は、部屋にまで入って来た・・・・。

「・・・・・・・・今日は・・・・・・・・。」

胸騒ぎがする・・・・・・・・。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7255/>

空のいろ。。。

2010年10月9日22時37分発行